



## **REST API**

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere

NetApp

December 09, 2025

This PDF was generated from [https://docs.netapp.com/ja-jp/sc-plugin-vmware-vsphere-61/scpivs44\\_rest\\_apis\\_overview.html](https://docs.netapp.com/ja-jp/sc-plugin-vmware-vsphere-61/scpivs44_rest_apis_overview.html) on December 09, 2025. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

REST API .....	1
概要 .....	1
Swagger API Webページを使用したREST APIへのアクセス .....	2
Storage VMを追加および変更するためのREST APIのワークフロー .....	2
リソース グループを作成および変更するためのREST APIのワークフロー .....	3
オンデマンドでバックアップするためのREST APIのワークフロー .....	4
VMをリストアするためのREST APIのワークフロー .....	5
削除されたVMをリストアするためのREST APIのワークフロー .....	6
VMDKをリストアするためのREST APIのワークフロー .....	7
VMDKを接続および接続解除するためのREST APIのワークフロー .....	8
VMDKを接続するには、次のワークフローを実行します。 .....	9
VMDKの接続を解除するには、次のワークフローを実行します。 .....	9
データストアをマウントおよびアンマウントするためのREST APIのワークフロー .....	10
データストアをマウントするには、次のワークフローを実行します。 .....	10
データストアをアンマウントするには、次のワークフローを実行します。 .....	11
ジョブのダウンロードおよびレポートの生成を行うためのREST API .....	11
ジョブの詳細情報を取得するには、[Jobs]セクションの次のREST APIを使用します。 .....	11
[Jobs]セクションの次のREST APIを使用して、ジョブのログをダウンロードします。 .....	12
レポートを生成するには、[Reports]セクションの次のREST APIを使用します。 .....	12
組み込みスケジュールを変更するREST APIワークフロー .....	12
スタック ジョブを失敗としてマークするためのREST API .....	13
監査ログを生成するためのREST API .....	13

# REST API

## 概要

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用して、一般的なデータ保護処理を実行できます。このプラグインのSwagger Webページは、Windows SnapCenterのSwagger Webページとは異なります。

- VMware vSphere用のREST APIを使用した、VMおよびデータストアに対する次の処理のREST APIワークフローについて説明します。
  - Storage VMおよびクラスタの追加、変更、削除
  - リソース グループの作成、変更、削除
  - VMのスケジュールされたバックアップおよびオンデマンド バックアップ
  - 既存のVMおよび削除されたVMのリストア
  - VMDKのリストア
  - VMDKの接続および接続解除
  - データストアのマウントとアンマウント
  - ジョブのダウンロードおよびレポートの生成
  - 組み込みのスケジュールの変更
  - ASA r2の二次保護を構成する
- VMware vSphere用のREST APIでサポートされない処理
  - ゲスト ファイルのリストア
  - SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのインストールおよび設定
  - ユーザへのRBACロールまたはアクセスの割り当て
- `uri` パラメータ

その `uri` パラメータは常に「null」値を返します。

- ログイン タイムアウト

デフォルトのタイムアウトは120分（2時間）です。vCenterの設定で別のタイムアウト値を設定できます。

- トークン管理

セキュリティ上の理由から、REST APIは必須トークンを使用します。必須トークンは各要求で渡され、すべてのAPI呼び出しでクライアント検証に使用されます。VMware vSphere用のREST APIでは、VMware認証APIを使用してトークンを取得します。VMwareではトークンを管理できます。

トークンを取得するには、 /4.1/auth/login REST API を使用して vCenter の資格情報を提供します。

- APIのバージョン指定

各REST API名には、そのREST APIが最初にリリースされたSnapCenterのバージョン番号が含まれています。例えば、REST API /4.1/datastores/{moref}/backups SnapCenter 4.1で初めてリリースされました。

今後のリリースのREST APIは通常、後方互換性があり、必要に応じて新機能に対応するように変更されます。

## Swagger API Webページを使用したREST APIへのアクセス

REST APIはSwagger Webページから利用できます。SnapCenter ServerまたはSnapCenter Plug-in for VMware vSphereのREST APIを表示する場合、およびAPIを手動で呼び出す場合は、Swagger Webページにアクセスします。VMとデータストアに対して処理を実行するには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用します。

このプラグインのSwagger Webページは、SnapCenter ServerのSwagger Webページとは異なります。

開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIの場合は、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのIPアドレスまたはホスト名を確認する必要があります。



このプラグインでは、サードパーティ製アプリケーションとの統合を目的としたREST APIのみがサポートされており、PowerShellコマンドレットやCLIはサポートされていません。

手順

1. ブラウザで、次のURLを入力してプラグインのSwagger Webページにアクセスします。

`https://<SCV_IP>:8144/api/swagger-ui/index.html`



REST API URL では次の文字を使用しないでください: +、.、%、&

例

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのREST APIにアクセスします。

`https://<SCV_IP>:8144/api/swagger-ui/index.html`

`https://OVAhost:8144/api/swagger-ui/index.html`

ログインし、vCenter認証メカニズムを使用して、トークンを生成します。

2. API リソース タイプを選択すると、そのリソース タイプ内の API が表示されます。

## Storage VMを追加および変更するためのREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してStorage VMの追加処理お

および変更処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

Storage VMを追加するには、次のワークフローを実行します。

手順	REST API	コメント
1	<code>/4.1/storage-system</code>	'Add Storage System'指定されたストレージ VM をSnapCenter Plug-in for VMware vSphere に追加します。

Storage VMを変更するには、次のワークフローを実行します。

手順	REST API	コメント
1	<code>/4.1/storage-system</code>	'getSvmAll'利用可能なすべてのストレージ VM のリストを取得します。変更するストレージ VM の名前をメモします。
2	<code>/4.1/storage-system</code>	'Modify Storage System'指定されたストレージ VM を変更します。他のすべての必須属性に加えて、ステップ 1 の <b>name</b> を渡します。

## リソース グループを作成および変更するためのREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してリソース グループの作成処理および変更処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

リソース グループを作成するには、次のワークフローを実行します。

手順	REST API	コメント
1	<code>/4.1/policies</code>	'Get Policies'VMware vSphere クライアント ポリシーのリストを取得します。リソース グループとポリシーの <b>frequency</b> を作成するときに使用する <b>policyId</b> をメモします。ポリシーがリストされていない場合は、'Create Policy'新しいポリシーを作成するための REST API。

手順	REST API	コメント
2	/4.1/resource-groups	`Create a Resource Group`指定されたポリシーを持つリソース グループを作成します。ステップ 1 の <b>policyId</b> を渡し、その他すべての必須属性に加えて、ポリシーの <b>frequency</b> の詳細を入力します。この REST API を使用して二次保護を有効にすることができます。

リソース グループを変更するには、次のワークフローを実行します。

手順	REST API	コメント
1	/4.1/resource-groups	`Get List of Resource Groups`VMware vSphere クライアント リソース グループのリストを取得します。変更する <b>resourceGroupId</b> をメモします。
2	/4.1/policies	割り当てられたポリシーを変更する場合は、 <code>Get Policies</code> VMware vSphere クライアント ポリシーのリストを取得します。リソース グループとポリシーの 頻度を変更するときに使用する <b>policyId</b> をメモします。
3	/4.1/resource-groups/{resourceGroupId}	`Update a Resource Group`指定されたリソース グループを変更します。ステップ 1 の <b>resourceGroupId</b> を渡します。オプションで、ステップ 2 の <b>policyId</b> を渡し、その他すべての必須属性に加えて <b>frequency</b> の詳細を入力します。

## オンデマンドでバックアップするためのREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してバックアップ処理をオンデマンドで実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

手順	REST API	コメント
1	/4.1/resource-groups	`Get List of Resource Groups`VMware vSphere クライアント リソース グループのリストを取得します。バックアップするリソース グループの <b>resourceGroupId</b> と <b>policyId</b> をメモします。
2	/4.1/resource-groups/backupnow	`Run a backup on a Resource Group`オンデマンドでリソース グループをバックアップします。ステップ 1 の <b>resourceGroupId</b> と <b>policyId</b> を渡します。

## VMをリストアするためのREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMバックアップのリストア処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

手順	REST API	コメント
1	へ移動 <code>http://&lt;vCenter-IP&gt;/mob</code>	VMware管理オブジェクトのURLからVMのmorefを見つけます。復元する VM の <b>moref</b> をメモします。
2	/4.1/vm/{moref}/backups	`Get VM Backups`指定された VM のバックアップのリストを取得します。ステップ 1 の <b>moref</b> を渡します。復元するバックアップの <b>backupId</b> をメモします。
3	/4.1/vm/backups/{backupId}/snapshotlocations	`Get snapshot locations`指定されたバックアップのスナップショットの場所を取得します。ステップ 2 の <b>backupId</b> を渡します。 <b>snapshotLocationsList</b> 情報をメモします。
4	/4.1/vm/{moref}/backups/availableesxhosts	`Get available ESX Hosts`バックアップが保存されているホストの情報を取得します。 <b>availableEsxHostsList</b> 情報をメモします。

手順	REST API	コメント
5	/4.1/vm/{moref}/backups/{backupId}/restore	<p>`Restore a VM from a backup`指定されたバックアップを復元します。手順 3 と 4 の情報を <b>restoreLocations</b> 属性に渡します。</p> <p> VMバックアップが部分バックアップの場合は、`restartVM` パラメータを「false」に設定します。</p> <p> テンプレートであるVMはリストアできません。</p>

## 削除されたVMをリストアするためのREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMバックアップのリストア処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

手順	REST API	コメント
1	へ移動 <code>http://&lt;vCenter-IP&gt;/mob</code>	VMware管理オブジェクトのURLからVMのUUIDを見つけます。復元する VM の <b>uuid</b> をメモします。
2	/4.1/vm/{uuid}/backups	`Get VM Backups`指定された VM のバックアップのリストを取得します。ステップ 1 の <b>uuid</b> を渡します。復元するバックアップの <b>backupId</b> をメモします。
3	/4.1/vm/backups/{backupId}/snapshotlocations	`Get snapshot locations`指定されたバックアップのスナップショットの場所を取得します。ステップ 2 の <b>backupId</b> を渡します。 <b>snapshotLocationsList</b> 情報をメモします。
4	/4.1/vm/{moref}/backups/availableesxhosts	`Get available ESX Hosts`バックアップが保存されているホストの情報を取得します。 <b>availableEsxHostsList</b> 情報をメモします。

手順	REST API	コメント
5	/4.1/vm/{uuid}/backups/{backupId}/restore	`Restore VM from a backup using uuid or restore a deleted VM` 指定されたバックアップを復元します。ステップ 1 の <b>uuid</b> を渡します。ステップ 2 の <b>backupId</b> を渡します。手順 3 と 4 の情報を <b>restoreLocations</b> 属性に渡します。VM バックアップが部分バックアップの場合は、`restartVM` パラメータを「false」に設定します。 注意: テンプレートである VM を復元することはできません。

## VMDKをリストアするためのREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMDKのリストア処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

手順	REST API	コメント
1	へ移動 <code>http://&lt;vCenter-IP&gt;/mob</code>	VMware 管理オブジェクトの URL から VM の moref を見つけます。VMDK が配置されている VM の <b>moref</b> に注意してください。
2	/4.1/vm/{moref}/backups	`Get VM Backups` 指定された VM のバックアップのリストを取得します。ステップ 1 の <b>moref</b> を渡します。復元するバックアップの <b>backupId</b> をメモします。
3	/4.1/vm/backups/{backupId}/snapshotlocations	`Get snapshot locations` 指定されたバックアップのスナップショットの場所を取得します。ステップ 2 の <b>backupId</b> を渡します。 <b>snapshotLocationsList</b> 情報をメモします。
4	/4.1/vm/{moref}/backups/vmdklocations	`Get Vmdk Locations` 指定された VM の VMDK のリストを取得します。 <b>vmdkLocationsList</b> 情報をメモします。

手順	REST API	コメント
5	/4.1/vm/{ moref}/backups/{backupId}/availabledatastores	`Get Available Datastores`復元操作に使用できるデータストアのリストを取得します。ステップ 1 の <b>moref</b> を渡します。ステップ 2 の <b>backupId</b> を渡します。 <b>DatastoreNameList</b> 情報をメモします。
6	/4.1/vm/{ moref}/backups/availableesxhosts	`Get available ESX Hosts`バックアップが保存されているホストの情報を取得します。ステップ 1 の <b>moref</b> を渡します。 <b>availableEsxHostsList</b> 情報をメモします。
7	/4.1/vm/{ moref}/backups/{backupId}/restorevmdks	`Restore a VMDK from a backup`指定されたバックアップから指定された VMDK を復元します。 <b>esxHost</b> 属性に、手順 6 の <b>availableEsxHostsList</b> の情報を渡します。手順 3 から 5 の情報を <b>vmdkRestoreLocations</b> 属性に渡します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>restoreFromLocation</b>属性に、手順3でメモした<b>snapshotLocationsList</b>の情報を渡します。</li> <li>• <b>vmdkToRestore</b>属性に、手順4でメモした<b>vmdkLocationsList</b>の情報を渡します。</li> <li>• <b>restoreToDatestore</b>属性に、手順5でメモした<b>DatastoreNameList</b>の情報を渡します。</li> </ul>

## VMDKを接続および接続解除するためのREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMDKの接続処理および接続解除処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

## VMDKを接続するには、次のワークフローを実行します。

手順	REST API	コメント
1	へ移動 <code>http://&lt;vCenter-IP&gt;/mob</code>	VMware管理オブジェクトのURLからVMのmorefを見つけてます。VMDKを接続するVMのmorefをメモします。
2	<code>/4.1/vm/{moref}/backups</code>	`Get VM Backups`指定されたVMのバックアップのリストを取得します。ステップ1の <b>moref</b> を渡します。復元するバックアップの <b>backupId</b> をメモします。
3	<code>/4.1/vm/{moref}/backups/{backupId}/vmdklocations</code>	`Get VMDK Locations`指定されたVMのVMDKのリストを取得します。ステップ2の <b>backupId</b> とステップ1の <b>moref</b> を渡します。 <b>vmdkLocationsList</b> 情報をメモします。
4	<code>/4.1/vm/{moref}/attachvmdks</code>	`Attach VMDKs`指定されたVMDKを元のVMに接続します。ステップ2の <b>backupId</b> とステップ1の <b>moref</b> を渡します。手順3の <b>vmdkLocationsList</b> を <b>vmdkLocations</b> 属性に渡します。
		 VMDKを別のVMに接続するには、 <code>alternateVmMorf</code> 属性にターゲットVMのmorefを渡します。

## VMDKの接続を解除するには、次のワークフローを実行します。

手順	REST API	コメント
1	へ移動 <code>http://&lt;vCenter-IP&gt;/mob</code>	VMware管理オブジェクトのURLからVMのmorefを見つけてます。VMDKをデタッチするVMのmorefをメモします。
2	<code>/4.1/vm/{moref}/backups</code>	`Get VM Backups`指定されたVMのバックアップのリストを取得します。ステップ1の <b>moref</b> を渡します。復元するバックアップの <b>backupId</b> をメモします。

手順	REST API	コメント
3	/4.1/vm/{moref}/backups/{backupId}/vmdklocations	`Get VMDK Locations`指定されたVMのVMDKのリストを取得します。ステップ2の <b>backupId</b> とステップ1の <b>moref</b> を渡します。 <b>vmdkLocationsList</b> 情報をメモします。
4	/4.1/vm/{moref}/detachvmdks	`Detach VMDKs`指定されたVMDKをデタッチします。ステップ1の <b>moref</b> を渡します。手順3のVMDK <b>vmdkLocationsList</b> の詳細を <b>vmdksToDetach</b> 属性に渡します。

## データストアをマウントおよびアンマウントするためのREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してデータストアのバックアップのマウント処理およびアンマウント処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

データストアをマウントするには、次のワークフローを実行します。

手順	REST API	コメント
1	ヘリカル <code>http://&lt;vCenter-IP&gt;/mob</code>	VMware管理オブジェクトのURLからデータストアのmorefを見つけます。マウントするデータストアの <b>moref</b> をメモします。
2	/4.1/datastores/{moref}/backups	`Get the list of backups for a datastore`指定されたデータストアのバックアップのリストを取得します。ステップ1の <b>moref</b> を渡します。マウントする <b>backupId</b> をメモします。
3	/4.1/datastores/backups/{backupId}/snapshotlocator	`Get the list of Snapshot Locations`指定されたバックアップの場所に関する詳細を取得します。ステップ2の <b>backupId</b> を渡します。 <b>datastore</b> と <b>snapshotLocationsList</b> リストの場所をメモします。

手順	REST API	コメント
4	/4.1/datastores/{moref}/availableEsxHosts	'Get the list of Available Esxi Hosts' マウント操作に使用できる ESXi ホストのリストを取得します。ステップ 1 の <b>moref</b> を渡します。 <b>availableEsxHostsList</b> 情報をメモします。
5	/4.1/datastores/backups/{backupId}/mount	'Mount datastores for a backup' 指定されたデータストアのバックアップをマウントします。ステップ 2 の <b>backupId</b> を渡します。 <b>datastore</b> 属性と <b>location</b> 属性には、次の情報を渡します。 'snapshotLocationsList' ステップ 3 で。 <b>esxHostName</b> 属性に、手順 4 の <b>availableEsxHostsList</b> の情報を渡します。

データストアをアンマウントするには、次のワークフローを実行します。

手順	REST API	コメント
1	/4.1/datastores/backups/{backupId}/mounted	Get the list of mounted datastores。アンマウントするデータストア <b>moref</b> をメモします。
2	/4.1/datastores/unmount	'UnMount datastores for a backup' 指定されたデータストアのバックアップをアンマウントします。ステップ 1 からデータストアの <b>moref</b> を渡します。

## ジョブのダウンロードおよびレポートの生成を行うためのREST API

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMware vSphere Clientジョブのレポートの生成およびログのダウンロードを行うには、VMware vSphere用のREST API呼び出しを使用する必要があります。

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

ジョブの詳細情報を取得するには、[Jobs]セクションの次のREST APIを使用します。

REST API	コメント
/4.1/jobs	'Get all jobs'、複数のジョブのジョブ詳細を取得します。ジョブタイプを指定することでリクエストの範囲を絞り込むことができます。`backup`、`mountBackup`、または`restore`。
/4.1/jobs/{id}	'Get job details'、指定されたジョブの詳細情報を取得します。

[Jobs]セクションの次のREST APIを使用して、ジョブのログをダウンロードします。

REST API	コメント
/4.1/jobs/{id}/logs	'getJobLogsById'、指定されたジョブのログをダウンロードします。

レポートを生成するには、[Reports]セクションの次のREST APIを使用します。

REST API	コメント
4.1/reports/protectedVM	'Get Protected VM List'、過去 7 日間に保護された VM のリストを取得します。
/4.1/reports/unProtectedVM	'Get Unprotected VM List'、過去 7 日間に保護されていない VM のリストを取得します。

## 組み込みスケジュールを変更するREST APIワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMware vSphere Clientジョブの組み込みスケジュールを変更するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

組み込みスケジュールとは、MySQLデータベースのダンプ スケジュールなど、製品の一部として提供されるスケジュールです。次のスケジュールを変更できます。

- Schedule-DatabaseDump
- Schedule-PurgeBackups
- Schedule-AsupDataCollection
- Schedule-ComputeStorageSaving
- Schedule-PurgeJobs

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

手順	REST API	コメント
1	/4.1/schedules	`Get all built-in`スケジュールは、製品に元々提供されていたジョブスケジュールのリストを取得します。変更するスケジュール名と、関連付けられているcron式をメモします。
2	/4.1/schedules	`Modify any built-in schedule`名前付きスケジュールを変更します。手順1でメモしたスケジュール名を渡し、そのスケジュールの新しいcron式を作成します。

## スタック ジョブを失敗としてマークするためのREST API

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMware vSphere ClientジョブのジョブIDを調べるには、VMware vSphere用のREST API呼び出しを使用する必要があります。これらのREST APIは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 4.4で追加されました。

各 REST API の先頭に `https://<server>:<port>` を追加して、完全なエンドポイントを形成します。

実行中状態でスタックしているジョブを失敗状態に変更するには、[Jobs]セクションの次のREST APIを使用します。

REST API	コメント
/4.1/jobs/{id}/failJobs	実行状態のままになっているジョブのIDを渡すと、`failJobs`これらのジョブを失敗としてマークします。実行中状態でスタックしているジョブを特定するには、ジョブ監視GUIを使用してすべてのジョブの状態とジョブIDを確認します。

## 監査ログを生成するためのREST API

監査ログの詳細は、Swagger REST APIおよびSCVプラグインのユーザインターフェイスから収集できます。

次に、Swagger REST APIを示します。

1. GET 4.1/audit/logs: すべてのログの監査データを取得する
2. GET 4.1/audit/logs/{filename}: 特定のログファイルの監査データを取得します
3. POST 4.1/audit/verify: 監査ログの検証をトリガーします。
4. GET 4.1/audit/config: 監査およびsyslogサーバーの設定を取得します。
5. PUT 4.1/audit/config: 監査およびSyslogサーバーの設定を更新します

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMware vSphere Clientジョブの監査ログを生成するには、VMware vSphere用のREST API呼び出しを使用する必要があります。

各REST APIごとに、`https://<server>:<port>/api` REST API の先頭に追加して、完全なエンドポイントを形成します。

ジョブの詳細情報を取得するには、[Jobs]セクションの次のREST APIを使用します。

REST API	コメント
4.1/audit/logs	整合性データを含む監査ログ ファイルを返します
4.1/audit/logs/{filename}	整合性データを含む特定の監査ログ ファイルを取得します
4.1/audit/verify	監査の検証をトリガーします
4.1/audit/syslogcert	syslogサーバ証明書を更新します

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。